

児童発達支援「キッズすてっぷさせば」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和2年11月1日

| | チェック項目 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標 |
|---------|--------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか ・必要に応じて、カーテンなどの仕切りや、スペースの確保を行っている。今後も状況に応じながら、過ごしやすいスペースの確保は必要。 ・また、活動に合わせた場所の検討は必要。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか ・配置はしっかりととっているが、活動の内容においては、ゆとりあるスタッフの数は必要と感じる時もある。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか ・バリアフリーにおいては、建物が2階になっている為、十分な介助が必要になってくる。室内においては、なるべく段差などがないようなマットの素材を選んでいる。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか ・今年度はコロナの影響で特に、消毒、換気などを行ってきた。 ・活動によっては場所を変えるなどしながら、工夫するようにしている。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか ・支援の内容をスタッフ間で振り返りながら、支援の方法、展開を修正していくようにしている。 ・個別活動、グループ活動においては、今後しっかりと目的を確認し合う事は必要。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ・ご要望や、ご意見などはしっかりと受け止めていきながら、今後の支援や取り組みなどに繋げていけると良い。 ・この評価表だけではなく、普段のご利用の中でも、何か困りごとはないか、不安な事はないか、ご利用されておられる保護者様に確認をしてみてくださいと考える。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか ・アンケートの集計を行い、ホームページに公表している。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか ・今年度は、子ども医療福祉センターのOT、STの先生方、社労士さんの訪問を経て、支援に対する助言を頂く機会があり、支援改善に繋がっていているようにしている。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか ・経験年数に応じて研修への参加などは随時検討している。 ・コロナの影響で研修開催も少なかったように感じるが、専門職からの講習を聞けると良いと感じる。 |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか ・アセスメントをしっかりととっていきながら、保護者様からのニーズの把握も行っている。ニーズに沿った個別支援計画の作成ができるよ良い。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか |

| | | | |
|---------|--|---|---|
| 適切な支援提供 | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインはスタッフ間、周知できるようにしている。家族支援、地域支援を念頭に置きながら、取り組みにおいては今後の課題である。 ・また、他事業所さんの取り組みの様子などの情報収集は必要。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | <ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った、個別活動、グループ活動などを取り入れている。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の実施は少人数のチームで提案実行できるような体勢で行っている。スタッフの組み合わせも変化しながら、色々な案が出せるようにしている。 ・個別活動では、個別支援計画を確認しながら、状況に応じて実施できるようにしている。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の実施は、関わる力、コミュニケーションの力、気持ちのコントロールの力、話を聞いて実行する力など、こういった経験ができるようにしている。こういった経験が、適応する力の育ちや、意思疎通を図りながら交流を楽しむ経験に繋がれば良いと感じている。こういった経験ができる事を踏まえ、「楽しいな！」「やってみたいな！」という活動の提案が今後でもできると良い。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動での目的、個別活動での目的などを踏まえて、実行できるようにしている。 ・活動が固定化しないように、色々な活動を提供できるようにしている。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、昼礼を行っている。子どもの様子も申し送り、活動の確認を行いながら、進めている。大まかな役割分担においては、状況に応じて動きも変わってくる為、臨機応変に行動するようにしている。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・重要事項などは伝えあっている。翌日の朝にミーティングを行い、支援の様子、振り返りを行っている。要点をまとめて業務日誌に記載するようにして、休みのスタッフにも伝わるようにしている。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | <ul style="list-style-type: none"> ・通所した時には記録を記入している。個別支援計画などに沿って記録しやすいように、個別支援計画のコピーを添付して、見比べながら記入できるようにしている。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な時期にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。 |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・参加するようにしている。 |
| 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携は今後も必要。子どもふくし協議会とも連携をとりながら、情報などの共有ができると良い。 | |

関係機関や保護者との連携

| | | |
|----|--|---|
| 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ・現在対象の方はご利用されておらず。 |
| 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | ・現在対象の方はご利用されておらず。 |
| 25 | 移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ・今年度はコロナの影響で関係機関との連携はとりにくい状況であったが、今後の課題として取り組んでいけたらと考える。 |
| 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ・今年度はコロナの影響で関係機関との連携はとりにくい状況であったが、今後の課題として取り組んでいけたらと考える。 |
| 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ・今後の課題である。 ・発達支援センターとの連携においては、今後も子どもふくし協議会に議題などを提案していきながら、取り組んでいけると良いと感じる。 |
| 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ・今後の課題である。 |
| 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ・会議、研修などは積極的に参加させて頂いている。 |
| 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ・送迎などでその日に合った事などお伝えしていくようにしている。また、日を改めてご連絡をとりながら、お伝えするときもある。 |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ・通所をされる時には、必ずご説明するようにしている。 |

| | | | | |
|------------|-------|---|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ・ガイドラインにおいてはスタッフ間、周知するようにしている。ガイドラインを踏まえ、保護者の方にニーズをお聞きし、個別支援計画を作成するようにしている。サインを頂く時には、ご説明を行っている。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ・保護者様の困り感や不安な事など、話しやすい環境を作っていく事は必要に感じる。また、定期的に、こちら側からもお尋ねするなどして、話を聞きやすい環境など作っていく事は大切に感じる。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ・昨年度から、どういう形で実施していくか話し合いはしていった。保護者様たちの交流の場をどのように作っていくかは今後の課題である。 | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ・対応できるようにしている。また、相談しやすい雰囲気を作っていく事は大切に感じる。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ・ブログの更新を行っている。活動の様子など分かりやすいように、定期的にブログ更新を行っている。戸外、室内においての様子など、今後も保護者様に様子などをお伝えしていけると良いと感じる。 ・また、おたよりも2～3ヶ月に1度、発行している。今までにあった行事の様子のみまとめや、ご報告などを通して、ご連絡をしている。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ・配慮している。 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ・必要に応じてメモをとるなど、視覚的に分かりやすいように伝達していけるように心がけていきたい。 ・また、聴覚に障害がある子どもさんに対して手話やマカトン法などの手法を積極的にスタッフ間でも取り入れていけたらと考える。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ・今後の課題である。 | |
| | 非常時の対 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ・マニュアルなどは、ファイルにして、スタッフに周知できるようにしている。 |
| | | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ・年に2回程、火や煙があがった設定の中で、避難する練習をしている。時には消防の方にも入って頂き、話をお聞きしている。今年度はコロナの影響で、水消火器をお借りして、自分たちで振り返りながら行った。 |
| 43 | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ・確認するようにしている。服薬する時には、服薬実施書の提出をお願いしている。 | |
| 44 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ・現在対象の方はおられない。 | |

| | | | |
|---|----|---|---|
| 応 | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ・作成しながら全員で把握できるようにしている。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ・外部の研修へは、順番に研修を受けるようにしている。外部の研修が終われば、事業所内にて伝達を行えるようにしている。また、事業所内にて行われる会議では、月に1度程議題を設定しており、今年度は、虐待防止も議題にあげて、全員で周知できるようにする。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか | ・現在対象者はおられない。 |